



キッズチャレンジキャンプ

平成29年10月14日(土)～15日(日)

【目的】「遊び基地」での遊びや森歩き、野外炊飯を通して、感じる力や気付く力、気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり試したりする力、よりよく生活しようとする心情や態度などの素地を養う。

【参加者】21家族57名(年中児4名、年長児17名、兄弟8名、保護者28名) ※申込50家族150名

【プログラムの内容】

1日目 13:30 はじめの会
14:00 森歩き
15:00 遊び場を使って自由遊び
18:30 星の話

2日目 9:30 チャレンジクッキング
13:30 おわりの会
14:00 解散

森歩き



山口大学附属幼稚園の高田先生に植物の話聞きながら、森を歩きました。途中、いろいろな木の実を拾ったり、ロープを使いながら急な坂道登ったりしました。どんぐりだけでなく、「あけび」や「むべ」「むかご」を発見できました。坂道を登ったことが一番楽しかったと答えた子供が多かったです。

星の話

外で天体観察の予定でしたが、雨のため室内で星の話を聞くことになりました。講師の方に天体についての質問をされ、次々に答える子供もいました。「次は本物の星空を見たい」という感想が多かったです。

子供達を寝かしつけた後、希望者による懇親会を開きました。講師から子育ての参考になる話も聞けました。多数の保護者が参加し、保護者同士の良い交流にもなりました。

チャレンジクッキング



遊び場を使って自由遊び



自転車コーナー、スラックラインコーナー、カプラコーナー、的当てゲームコーナーなど様々な遊びができるコーナーを作り、自分の好きな場所で遊びました。初めて会った子供同士が仲良く一緒に遊んでいる姿も見られました。また、自分の気に入ったコーナーで何度も繰り返し遊んでいる子もいました。

おやつコーナーも用意し、マシュマロを焼いて食べたり、出来たてのポップコーンを食べたりしました。

他にも、保護者向けプログラムとして「姿育体操」を体験してもらいました。



カレー、豚汁、ピザを分担して作りました。子供達も薪を割ったり、材料を切ったり、ピザに具をのせたりと自分ができることに挑戦しました。今回の経験が自信につながって欲しいと思います。

おわりの会

最後にみんなの前で感想を発表しました。小さい子もみんなの前で発表することができました。



【参加者の声】子供の主体的な姿を見ることができた。森歩きできのこなどいろいろな物を発見して喜んでた。時間にゆとりがあって幼児にとって無理がなかった。ボランティアのおかげで初めてでも子供が打ち解けやすかった。同じグループの人と話ができるようになってよかった。保護者対象のプログラムがあって楽しめた。薪割りの体験が貴重だった。晴れだったらもっとよかった。

【成果】全体満足度「4」は80%、「3」は20%。日頃なかなかできない自然体験や今後生きる生活体験をさせることができた。定員を大きく超える申し込みがあり、幼児対象の野外活動に対するニーズの高さを確認できた。森歩きが印象に残っている子供、大人が多く、今後のプログラム開発の参考になった。

【課題】星の話は幼児にとってやや難しかった。対象者の様子に合わせて内容や進行を変更しながら進めたが、ボランティアとの連絡、調整が不十分であった。変更等について、ボランティアとの情報共有がしっかりできるようにする必要がある。